

私のすすめるこの1冊

西本 有逸（英文学科 教授）

『太郎物語－大学編』

曾野 綾子（著）

曾野綾子（1931-）が45歳のときの作品である。氏の思想・信条についてはふれないで置く。私は40年前にこの文庫本をザックに放り込んで、九州へ一人旅に出かけた。大学一年の夏のことである。爾来、私の大学生活は『太郎物語』のおかげで○×△※になった。世間でいうところの青春小説以上の何かしらを『太郎物語』は秘めているのだ。今、この図書館ニュースを読んでくれているあなたが新入生だとしたら、次のような問いひとつひとつに『太郎物語』は答えてくれよう。

Q 京教、入ったけど・・・正解？

A 「その構内に生える一本の木に親しみを覚えれば、自分は、その木によりかかろう、と思うだろう。あの坂道、あのベンチ、あの教室、に自分の姿を置いてみて、そこに何らかのやさしい、ふさわしいものを覚えれば、自分はその大学につながれて行くのだ。」

Q 学問？いったい何、それ？

A 「学問は神聖だ、などと言うつもりはない。神聖ではないが、ひたむきなものだと思う。」
「勉強はしょせん独学と思え。」

Q 教育って環境に左右される？

A 「状況を変えるということは、教育に関しては実に小さな要素でしかない。ある人間にとって、完全に勉強し易い状態を作るなどということはできないことだし、それはむしろ教育の目的とするところではない。教育はむしろ、どんなに勉強し難い状態でも勉強できるような人間を作ることにある。」

旅から戻った私は書店に駆け込み、『太郎物語－高校編』を買い求めた（読む順序が逆であったことはたいした問題ではない）。夢中で線を引いた箇所——「人間が平凡な生活から出発すること。平凡な生活の中から、学び得るものを引き出す癖をつけること。たとえ他人より少しでも秀でたところを持ち得たとしても、人間としての謙虚さを失わないこと。タダの人間、タダの太郎であるという思いを片時も忘れないこと。」「革命をやろうとする人はね、一人で一生かけて静かにやるべきなのよ。たとえ、それがささやかなもので一生やっても何の効果もでなくてもいいの」——が自分のコナトゥス（自己保存）を増大させてきたことは間違いない。人格の一部となっているのである。

新入生のみなさんへ

ご入学おめでとうございます。みなさんの大学生活が豊かなものとなるよう、図書館職員一同、心からお祈りしております。図書館は、正門からのメインストリートに面した4階建ての建物で、1階には学生課があります。まずは一度見に来てください♪

西の3・4階は書庫スペース。見晴らしよく研究がはかどります。



北の2階には研修・セミナー室やラーニングcommonsがあります。セミナー参加や模擬授業練習、IPC提供PCでのレポート執筆、様々な用途にお使いいただけます！



企画展示室

学生の皆さんでも利用できます。自分たちの作品の展示などに是非！



西・南の2階にはシラバス図書や教科書などとともに閲覧席が並んでいます。自習、研究、レポート執筆の中心です。



南館1階はDVDや新聞、雑誌、小説、マンガ、絵本などがあります。気軽にのぞいてみてね！

予約制！図書館ツアー・講習会に参加しよう！

図書館ではさまざまな講習会を、4～5月中予約制（各回3名程度上限）で開催します。レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から施設・サービス・資料の利用方法を聞いてみませんか？ご参加お待ちしております！

【申込方法】氏名・専攻・希望講座・希望日時（曜日・時限（平日9:00～17:15））を明記の上 library@kyokyo-u.ac.jp 宛に前日までにご連絡ください。調整の上、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。

【集合場所】附属図書館カウンターもしくは Microsoft Teams
詳細は、ホームページやポスターで！

予約制！

図書館ツアー・講習会

図書館ではさまざまな講習会を、4～5月中予約制（各回3名程度上限）で開催します。レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から施設・サービス・資料の利用方法を聞いてみませんか？ご参加お待ちしております！

【実施講座】

- 各回25分程度
- 図書館ツアー…まずは館内を歩いてみよう！
- レポート・論文資料収集法【データベース検索編】
…資料収集に便利なデータベースを知ろう！
- レポート・論文資料収集法【日本語文献検索・入手編】
…論文の資料集めをしよう！
- レポート・論文資料収集法【海外文献検索・入手編】
…海外の文献を集めよう！

【申込方法】

氏名・専攻・希望講座・希望日時（曜日・時限（平日9:00～17:15））を明記の上 library@kyokyo-u.ac.jp 宛に前日までにご連絡ください。調整の上、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。 ※レポート・論文資料収集法はMicrosoft Teamsの参加も相談の上、受け付けいたします。

【集合場所】

附属図書館カウンターもしくはMicrosoft Teams



京都教育大学附属図書館

新生活応援コーナーを設置します

家事の本や京都のガイドブックなどを集めた新生活応援コーナーを設置します。

4月からの新しい生活や、春の京都散策などにご活用ください！

【期間】4月18日(月)～5月中旬予定

【場所】1階渡り廊下

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

4月の投票期間は

4月1日(金)～4月20日(水)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入しています。

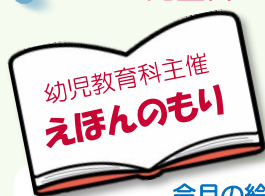


北館1階
臨時閲覧室
開室中！



西館2階
机を新しく
しました。

児童書コーナー（南館1階）



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

今月の絵本カード（学生作）



『そらまめくんのぼくのいちにち』作・絵：なかや みわ
出版社：小学館

附属図書館在学生アンケートの実施について

附属図書館では学生利用者の要望・評価を調査することを目的に利用者アンケートを行っています。よりよい図書館にしていくため、ご協力のほどよろしくお願い致します。

【調査方法】アンケート用紙およびWebフォーム

【対象】本学に1年以上在籍している在学生全員

【配布方法】用紙は在学生オリエンテーション時に配布および回収箱の近くに設置

【回収方法】回収箱（設置場所：図書館、オリエンテーション会場）およびWebフォーム

【回収時期】4月28日(木)まで

EBSCO Academic Search Elite を EBSCO Academic Search Premier にアップデート！

本学では2019年度よりEBSCO Academic Search Eliteを提供していましたが、2022年度よりEBSCO Academic Search Premierに変更をします。

全文アクセスできるアクティブな学術雑誌が2,100誌から3,100誌へ拡大されます。

ご自宅からご利用いただけます。附属図書館ホームページよりご利用ください。

春季休業に伴う長期貸出について

学部生：1月28日(金)～4月4日(月)

院生・教職員：1月14日(金)～3月22日(火)

【返却期限日】4月18日(月)まで

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【4月の開館日時】

7日(木) 入学式 9:30～12:30

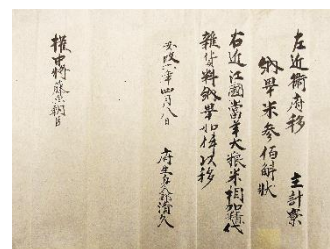
11日(月)、18日(月)、25日(月) 14:00～17:00

今月の逸品（4・5月）

『二条家文書』

安政6年(1859)4月8日
左近衛府移

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **香川 貴志** (社会科学科 教授)

「小学校社会科副読本にみる防災・減災関連記事の推移 —北海道奥尻町、岩手県宮古市、和歌山県広川町を事例に一—」

香川貴志

京都教育大学紀要 2021, No. 139, pp. 47-61.

小学校の第3学年や第4学年の社会科教科書には、「身近な地域」を理解するための事例地域が載っています。しかし、それはサンプルとしての地域ですから、多くの市町村では『わたしたちの〇〇市』『わたしたちのまち〇〇』のような名称の副読本が授業で利用されています。「そういえば自分が小学生の時にも使った!」という人も多いことでしょう。

多くの副読本は各地域の教育委員会が発行しています。そして、その地域の現職教員が執筆や編集を担当していて、地元で特徴的なことがらがクローズアップされています。この論文で扱った3つの地域は、大津波の甚大な被害を受けた地域(奥尻町、宮古市)、近い将来に大津波の襲来が予想される地域(広川町)です。そのため「地域の安全を守る」の小单元では、警察や消防の他に自然災害としての津波が詳しく扱われています。

奥尻町や宮古市の副読本では、大津波の被害を受けたあと、被害の状況説明とともに震災復興を扱う量が増えています。また、広川町の副読本では、小泉八雲の“A Living God”が地元教員によって翻案された『稲むらの火』を防災逸話として使っています。上記の小泉作品は、明治三陸大津波に触発された小泉が広川の地の伝承をもとに書いたもので、私たちはそこに三陸地方と広川町を結ぶ縁を見出せます。津波への備えは海を臨む地域共通の大切な防災・減災概念なのです。

広川町には「稲むらの火の館」という防災資料館があり、奥尻町や宮古市、そして三陸には多くの震災遺構や伝承施設が散在しています。この論文が教育実践で避けては通れない防災・減災を見詰め直す契機、さらには被災地に学ぶ現地訪問の動機になれば幸いです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 139号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2022年4月							2022年5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

4/7 入学式

4/12 前期授業開始

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

●携帯版 OPAC

(QRコード→)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.259 (2022年4月号)

発行日: 2022年4月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp